

自治体の課題、現状

少子化の進行に伴う生徒数の減少により、部活動数や部員数の維持が難しくなっている。そのため、生徒が希望する部活動がなかったり、人数が確保できずに十分な活動ができなかったりという課題が見られる。

本市は、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団の数が県内最多であり、これらの財産を活かした部活動の地域移行を検討している。

中学生が総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団の活動に加え、文化少年団やクラブチーム、保護者の会、習い事や塾など、多岐にわたる選択肢から休日の活動を選べるよう、休日に中学生の受入れに協力できる地域クラブ等が掲載されている冊子の情報を、QRコードにより閲覧できる案内チラシを作成し、令和8年1月に配布するという方向性を決め、関係者への周知と理解を図っている。

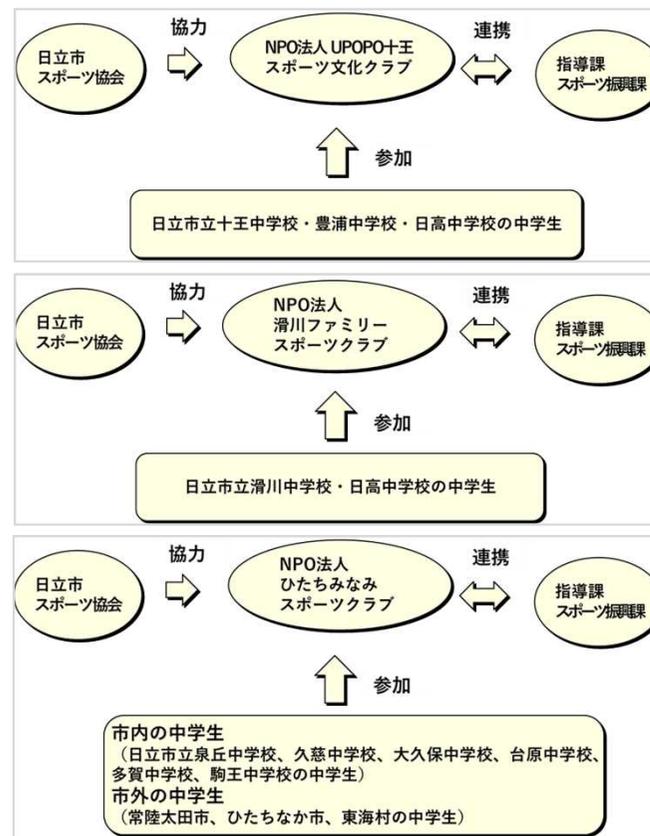
地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	16校	全生徒数	3,605人
域内の部活動数	150部	実施した地域クラブ数	3クラブ
全体の指導者数	43人	全体の運営スタッフ数	8人
主な運営団体	総合型地域スポーツクラブ		
主な種目	軟式野球、サッカー、男女ソフトテニス、男女卓球、男女バスケットボール、男女バレーボール、剣道、バドミントン、陸上、柔道		
平均的な活動回数	2回/月	年間平均参加生徒実数	100人/クラブ
参加会費	500円/年	主な活動場所	日立市立十王中学校外

地域移行関連の取組、成果

総合型地域スポーツクラブ3団体が実証事業に参画し、本市の多くの生徒たちが休日にスポーツ活動に参加できる体制づくりのために、指導者の確保、生徒の希望に応えられるような種目の拡充、受益者負担への理解等の課題に取り組み、多くの中学生が休日にスポーツ活動に参加できる体制づくりを進めるための検証を進めることができた。

運営体制図



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

茨城県日立市

自治体名：茨城県日立市

担当課名：指導課

電話番号：0294-22-3111

本報告書は、スポーツ庁の「令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）」の一貫として、茨城県が実施した「令和6年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の成果をとりとめたものです。

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	225.73km ²
人口	163,300人
公立中学校数	16校
公立中学校生徒数	3,605人
部活動数	150部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

少子化の進行に伴う生徒数の減少により、部活動数や部員数の維持が難しくなっている。そのため、生徒が希望する部活動がなかったり、人数が確保できずに十分な活動ができなかったりという課題が見られる。

本市は、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団の数が県内最多であり、これらの財産を

活かした部活動の地域移行を検討している。

日立市教育委員会としては、令和6年度から第1・第3土曜日を部活動の「地域移行に向けた準備の日」と位置づけ、国・県が示した改革推進機関である令和7年度末を目途に一体的に部活動の地域移行に向け、取り組んでいく。

- ・各校の部活動の種類が減少し、生徒が興味ある活動に親しめない現状がある。
- ・部活動の指導者となっている教師が、その種目の経験者ではない場合がある。

日立市15校中 存続している部活動数は

陸上	2校	剣道男子	10校
新体操	1校	剣道女子	10校
男子バスケットボール	9校	柔道男子	6校
女子バスケットボール	12校	柔道女子	6校
男子バレーボール	5校	サッカー	13校
女子バレーボール	11校	軟式野球	11校
男子ソフトテニス	12校	吹奏楽	15校
女子ソフトテニス	12校	美術	8校
卓球男子	15校	文芸・文化・工芸	4校
卓球女子	15校	パソコン	3校

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

指導課：学校・文化団体等との連絡調整

スポーツ振興課：スポーツ団体との連絡調整・学校施設の利用・開放等の調整

◎首長部局

なし

年間の事業スケジュール

令和6年1月

- ・全中学校を訪問し、部活動地域移行の概要を説明
- ・市地域エキスパートへのアンケート調査を実施
- ・中学校生徒へのアンケート調査を実施

令和6年2月

- ・スポーツ少年団へのアンケート調査を実施

令和6年3月

- ・保護者に休日の部活動の段階的な地域移行について通知
- ・少年団との懇話会を実施
- ・部活動の段階的な地域移行に向けた検討委員会（書面開催）

令和6年5月

- ・校長会役員会との協議
- ・市と総合型地域スポーツクラブ3団体が地域移行実証事業に係る委託契約を締結

令和6年7月

- ・スポーツ少年団への説明会を実施
- ・部活動の段階的な地域移行に向けた検討委員会を実施
- ・スポーツ少年団への周知資料配布
- ・校長会役員会への進捗状況報告

令和6年8月

- ・県主催「部活動地域移行シンポジウム」への参加
- ・スポーツ少年団へのアンケート調査の実施
- ・地域移行視察（東海村）
- ・周知広報に向けての指導課とスポーツ振興課の話し合い

令和6年9月

- ・学校長会へ概要説明

令和6年12月

- ・市P連に概要説明
- ・総合型地域スポーツクラブとの協議

令和7年1月

- ・小学5年～中学3年の児童生徒・保護者対象に啓発チラシを配布
- ・各学校において新入生保護者説明会で概要説明

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	11校	実施した地域クラブ総数	3クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3クラブ（34部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	43人	全体の運営スタッフ数	8人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
NPO法人UPOPO十王スポーツ文化クラブ	総合型地域スポーツクラブ	8種目12部活動	月2回	午前又は午後の3時間	153人	通年	十王中学校グラウンド外	21人	2人	入会金 2,000円/ 年会費 12,000円/ 年	中体連：部活動
滑川ファミリースポーツクラブ	総合型地域スポーツクラブ	7種目10部活動	月1～2回	午前の3時間	84人	通年	滑川中学校グラウンド外	8人	2人	会費 12,000円/ 年	中体連：部活動
ひたちみなみスポーツクラブ	総合型地域スポーツクラブ	1種目1部活動	月2回	午前の3時間	65人	通年	久慈サンピア日立テニスコート外	14人	4人	入会金 1,000円/ 年会費 9,600円/ 年	中体連：部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

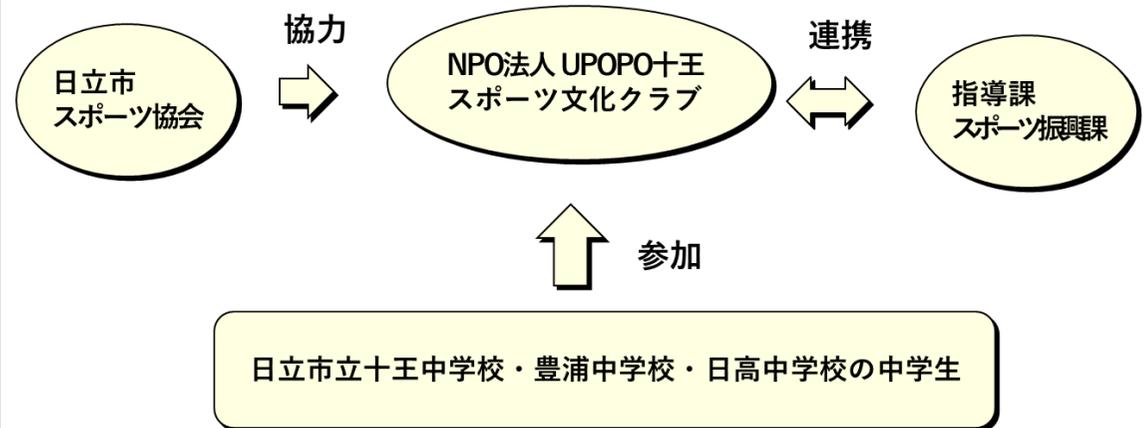
2.実証内容と成果

主な取組例

●NPO法人UPOPO十王スポーツ文化クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球、サッカー、男女ソフトテニス、男女卓球、男女バスケットボール、男女バレーボール、剣道、バドミントン
運営団体名	NPO法人十王スポーツ文化クラブ
期間と日数	通年 月2回程度
指導者の主な属性	地域住民（部活動指導員、市エキスパート指導員等）
活動場所	十王中学校グラウンド外
主な移動手段	徒歩
1人あたりの参加会費等（年額）	入会金2,000円／年 会費12,000円／年
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

運営スタッフ2人 会費等徴収、指導者確保、広報
指導スタッフ21人 各種目の指導全般

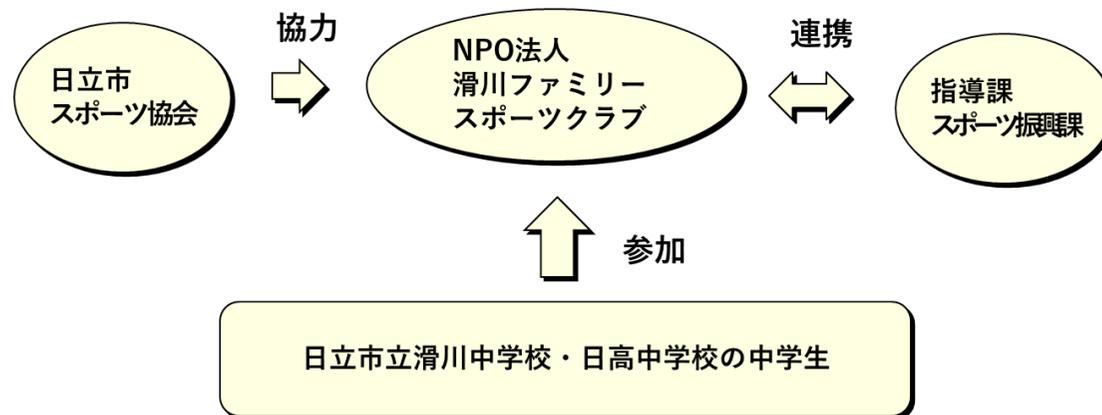
2.実証内容と成果

主な取組例

●NPO法人滑川ファミリースポーツクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー、男女ソフトテニス、卓球、男女バスケットボール、男女バレーボール、陸上、柔道
運営団体名	NPO法人滑川ファミリースポーツクラブ
期間と日数	通年 月1～2回程度
指導者の主な属性	地域住民（部活動指導員、市エキスパート指導員等）教員のボランティア
活動場所	滑川中学校グラウンド外
主な移動手段	徒歩
1人あたりの参加会費等（年額）	会費 12,000円/年
1人あたりの保険料	AIG損害保険 生徒1人あたり：363円/年 指導者1人あたり：5,210円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

運営スタッフ2人 会費等徴収、指導者確保、広報
指導スタッフ8人 各種目の指導全般

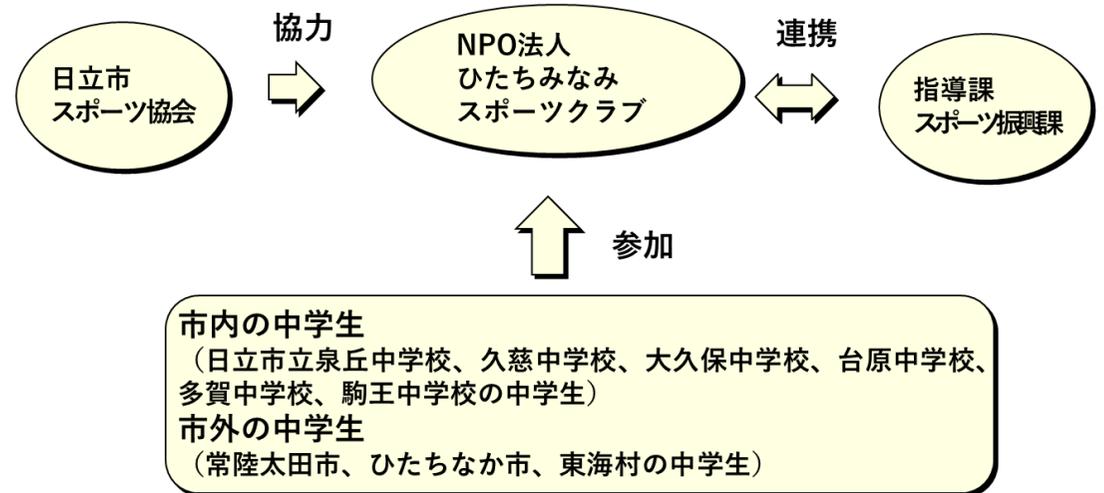
2.実証内容と成果

主な取組例

●NPO法人ひたちみなみスポーツクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニス
運営団体名	NPO法人ひたちみなみスポーツクラブ
期間と日数	通年 月2回程度
指導者の主な属性	地域住民（部活動指導員、市エキスパート指導員等）
活動場所	久慈サンピア日立テニスコート外
主な移動手段	徒歩、保護者による送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	入会金1,000円／年 会費9,600円／年
1人あたりの保険料	レクリエーション障害保険 生徒1人あたり：270円/年 指導者1人あたり：3,970円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

運営スタッフ2人 会費等徴収、指導者確保、広報
指導スタッフ8人 各種目の指導全般

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・総合型地域スポーツクラブとの協議（4月・7月・12月）
- ・校長会役員会との協議・進捗状況の報告（5月・7月）
- ・検討委員会の開催（7月）
- ・スポーツ少年団への説明会（7月・2回）
- ・市P連に概要説明（12月）

取組の成果

検討委員会による包括的なアプローチから、スポーツ少年団等、関係団体・分野への個別のアプローチに徐々に移行し、積極的に連絡調整を進めている。

コーディネーターの具体的な動きの実績

コーディネーターを設けていない

今後の課題と対応方針

運営体制については、国の実行会議においても重要な課題として捉えているので、早期構築に向けて関係団体と協議を進めていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

現在、中学校で外部指導者として活動している市地域エキスパート58人を対象に、令和6年1月にアンケート調査を実施した。
 休日の部活動に際し、地域の指導者として関わることについて、肯定的な回答は85%（34人）であった。

人材バンクの人数

人材バンクを設けていない

人材バンクの年齢構成

人材バンクを設けていない

登録者属性

人材バンクを設けていない

種目

人材バンクを設けていない

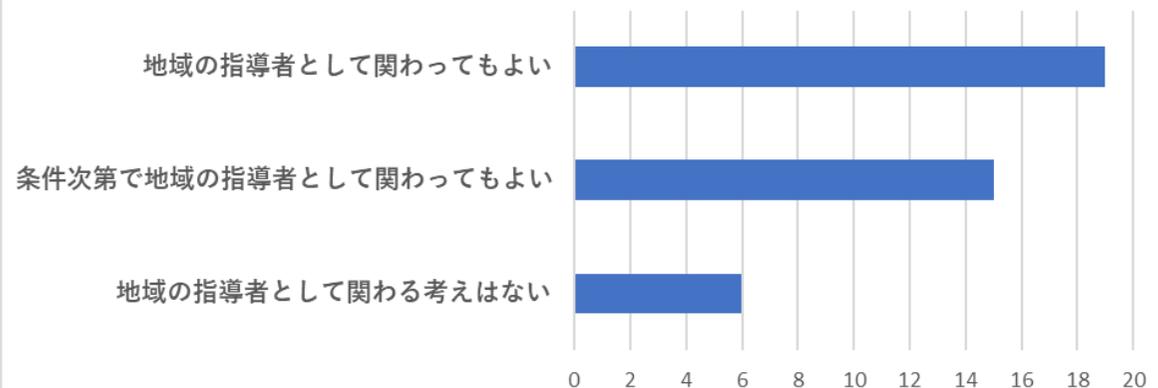
資格有無

人材バンクを設けていない

取組の成果

指導者の質の保障・量の確保については、多様な人材の発掘と配置、指導方法の工夫や研修の充実等が課題として挙げられている。
 本市には多様な人材がおり、関係団体と連携して新たな地域人材の発掘に努めるとともに、現在、中学校で外部指導者として活動している市地域エキスパート等の人材の活用を更に進めていく。

休日の部活動の地域移行に際し、地域の指導者として中学生と関わることについてどう考えるか（市地域エキスパート）



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

関係団体が地域スポーツクラブの指導者の質の向上を図るために、指導者講習会の開催等を行っている。

受講者の声

なし

指導者研修の参加実績

なし

今後の課題と対応方針

今後も関係団体の協力を得ながら、中学生への指導法や対応に係る研修会や講習会を更に充実していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- ・実証事業に参画している総合型地域スポーツクラブとの連携（随時）
- ・校長会役員会との協議・進捗状況の報告（5月・7月）
- ・スポーツ少年団への説明会（7月・2回）
- ・市P連に概要説明（12月）

取組の成果

本市は総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団の数が県内最多であり、これらの財産を活かし、関係団体との連携を積極的に進めながら、中学生の受入れに協力してもらえる地域クラブの確保に努めている。

バス等の運行実績

なし

バス等の運航経費・収入

なし

今後の課題と対応方針

今後も関係団体との連絡調整を積極的に行い、中学生の受入れに協力してもらえる地域クラブの確保に努める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

令和6年度に実証事業を行った総合型地域スポーツクラブ三団体（UPOPO十王スポーツ文化クラブ、滑川ファミリースポーツクラブ、ひたちみなみスポーツクラブ）では、近隣の中学校の生徒も参加した。

ひたちみなみスポーツクラブでは常陸太田市、ひたちなか市、東海村の生徒が自治体の枠を超え、参加した。

取組の成果

UPOPO十王スポーツ文化クラブは3校の生徒が参加した。

滑川ファミリースポーツクラブは2校の生徒が参加した。

ひたちみなみスポーツクラブは14校（市内37人、市外28人）の生徒が参加した。

各自治体の役割

特になし

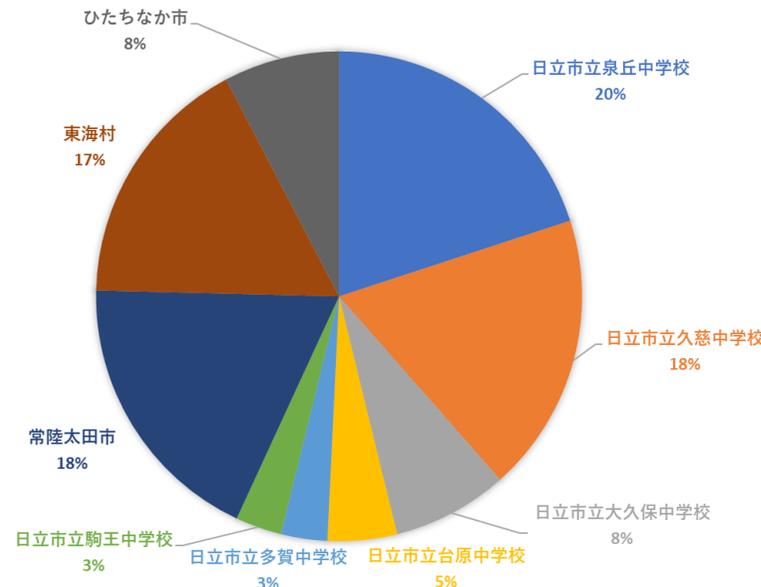
移動手段

実施場所から遠方の生徒は保護者の送迎による。

事務局運営の方法

各地域クラブが自主運営

ひたちみなみスポーツクラブ参加者の属性



今後の課題と対応方針

引き続き、広域的に中学生の受入れに協力してもらえる地域クラブの確保に努める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

・スポーツ少年団へのアンケート調査の実施（8月）

活動の詳細			
参加人数	36団	指導者数	各スポーツ少年団の代表者
属性	スポーツ少年団		
具体的な内容	県内最多であり、本市の重要な資源のひとつとして捉えているスポーツ少年団に、生徒の受入りの可能性、会場、指導者、費用等についてアンケート調査を実施した。		
子供の声			
関係者の声	少年団92団のうち、36団から回答をいただき、生徒の受入れについて「協力できる・既に行っている」と回答した団は19団、「条件付きで協力できる・条件次第で検討する」と回答した団は10団、協力できない（土・日はもともと活動していない）と回答した団は6団、「まだ、判断がつかない」と回答した団は1団であった。		
運営経費	中学生の受入れにあたって新たに発生すると考えられる経費として、大会参加費や引率に係る費用（26団）、指導者への謝金（19団）、中学生向けの備品、消耗品（14団）が挙げられた。		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

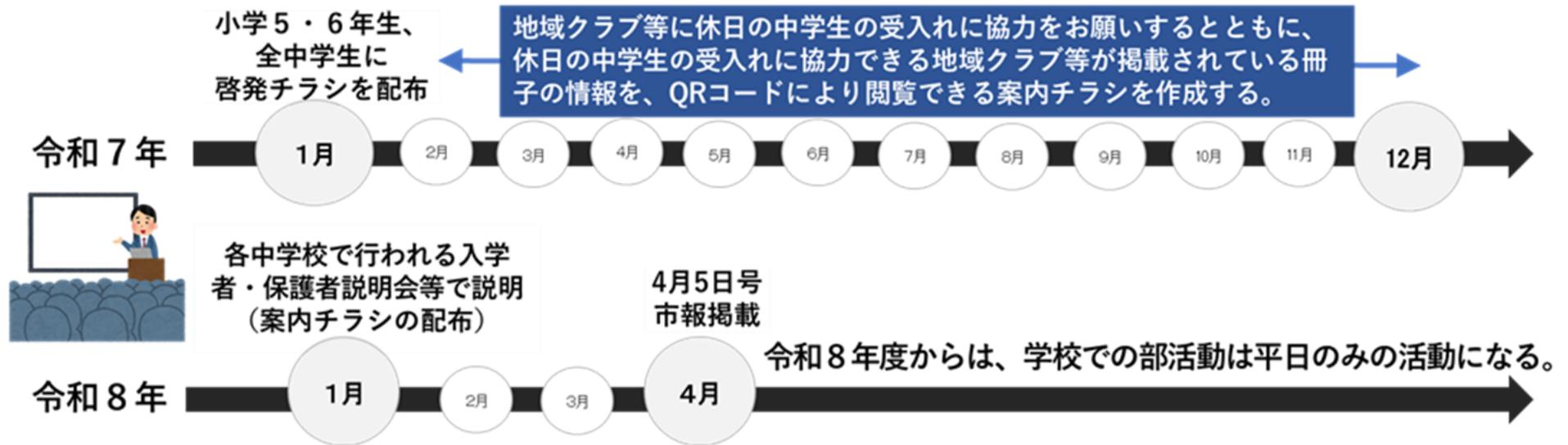


取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップを作成し、関係団体等に周知理解を図った。



今後の課題と対応方針

- ・本市は、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団の数が県内最多である。また、文化少年団やクラブチーム、保護者の会、習いごと、塾など、中学生の休日の活動は多くの選択肢がある。
- ・休日の生徒の活動は、休日に活動を希望する中学生が、好きなことを、多岐にわたる選択肢から選択できるようにする。

- ・中学生が多岐にわたる選択肢から休日の活動を選べるよう、休日に中学生の受入れに協力できる地域クラブ等が掲載されている冊子の情報を、QRコードにより閲覧できる案内チラシを作成し、令和8年1月に各中学校で開かれる入学者・保護者説明会等で説明することを目標としている。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

地域クラブ等への参加者は、その地域クラブ等が定める参加費用負担を支払う。

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

新たに中学生が地域クラブに参加することにより、
・消耗品費
・会場使用料
などがイニシャルコストとして想定される。

■ランニングコストの分析

・消耗品費
・会場使用料
・保険料
・大会参加費・登録費
・謝金を支払い運営しているかたちの地域クラブは人件費
などがランニングコストとして想定される。

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

指導者謝金や事務局人件費を支払い運営しているかたちの地域クラブが自走していくためには、参加者数にもよるが、概ね月2,000円～3,000円の受益者負担額の設定が必要と試算している。

収支バランス

特になし

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

経済困窮世帯へは就学援助制度を適用し、無償で休日の地域移行に協力する地域クラブの活動に参加できるようにしている。
令和6年度は19人に就学援助制度を適用している。

今後の課題と対応方針

引き続き経済困窮世帯へは就学援助制度を適用し、無償で休日の地域移行に協力する地域クラブの活動に参加できるよう支援する。
受益者負担額の設定については、保護者等の理解が必要である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等③

資料

特になし

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

本市では、地域クラブ等が地域において円滑に継続していくための場の提供は重要であると認識しており、小中学校のグラウンドや体育館等の公共施設の優先利用に努めている。

取組の成果

現在、休日の地域移行に協力できる地域クラブ、保護者の会等、31団体が休日に小中学校のグラウンドや体育館等の公共施設を優先利用している。

今後の課題と対応方針

引き続き、地域移行に協力できる地域クラブ等の、小中学校のグラウンドや体育館等の公共施設の優先利用に努める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組

取組事項

特になし

取組の成果

特になし

指導者の属性や配置の工夫

・指導者の属性
特になし
・配置の工夫
特になし

一貫指導に関する部活動顧問との連携事例

特になし

今後の課題と対応方針

特になし

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 例) イ：指導者の質の保障・量の確保 / ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項 (イ)

特になし

取組事項 (ウ)

特になし

取組の成果 (イ)

特になし

取組の成果 (ウ)

特になし

今後の課題と対応方針

特になし

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

総合型地域スポーツクラブ3団体（十王スポーツ文化クラブ、滑川ファミリースポーツクラブ、ひたちみなみスポーツクラブ）が実証事業に参画し、本市の多くの生徒たちが休日にスポーツ活動に参加できる体制づくりのために、持続可能な運営のための指導者の確保、生徒の希望に応えられるような種目の拡充、受益者負担への理解等の課題を検証した。

中学生が総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団の活動に加え、文化少年団やクラブチーム、保護者の会、習い事や塾など、多岐にわたる選択肢から休日の活動を選べるよう、休日に中学生の受入りに協力できる地域クラブ等が掲載されている冊子の情報を、QRコードにより閲覧できる案内チラシを作成し、令和8年1月に配布するという方向性を決め、関係者への周知と理解を図った。

●成果の評価

総合型地域スポーツクラブは、実証事業を活用することで、多くの中学生が休日にスポーツ活動に参加できる体制づくりを進めるための検証を進めることができた。

一方で、指導者の確保や、人件費等多くのコストを要するため、実証事業が終了した後の運営等、依然として課題も残されている。

●今後に向けて

総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団の活動に加え、文化少年団やクラブチーム、保護者の会、習い事や塾など、中学生の休日の活動の選択肢は多岐にわたる。

今後は、「中学生は休日に部活動に参加することが当たり前」であった価値観を、「中学生は休日の活動を自分で選ぶようになる」に転換することに適合した展開が必要となる。

アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

実証事業参加者へのアンケート調査は
行っていない

●参加者の声

2.実証内容と成果③

アンケート結果・広報資料

実証事業に参画した総合型地域スポーツクラブ三団体（UPOPO十王スポーツ文化クラブ、滑川ファミリースポーツクラブ、ひたちみなみスポーツクラブ）は参加啓発チラシを活用し、面的・広域的に広く参加者を募集した。

特にひたちみなみスポーツクラブでは、常陸太田市、ひたちなか市、東海村の生徒が自治体の枠を超え、参加した。

～スポーツ庁 地域スポーツクラブ活動体制整備(地域移行実証)委託事業～
令和6年4月から第1,3土日、令和8年4月から全ての休日の学校部活動が行われなくなります

十王中学区・日立北部 地域クラブ会員募集

「じょうずにやりたい」「練習場所がほしい」「試合をしたい」中学生
コーチ・マネージャー同時募集(ボランティア会員)

月2回(原則第1・3土曜日)3時間 十王中学校・十王スポーツ広場 他
(対象) 十王・豊浦・日高・滑川・中里各中学校生徒
※他中学校生徒も歓迎

<8種目11サークル>

- 軟式野球
- サッカー
- 男・女ソフトテニス
- 男・女卓球
- 男・女バレー
- 剣道
- 男・女バスケ

(内容) 試合をするための基礎基本技能向上と全員試合
(持ち物・服装) 学校部活動に同じ
(必要経費) ①年会費一人3,000円(保険料含む)

②練習参加料 1回500円(利用チケット制)

(申込方法) 加入申込書を運営委員会事務局にお渡しください

※2月から見学・体験、申込みは随時可能です。種目により加入人数制限があります。
※年会費支払い、利用チケット購入(10回分5,000円)は、正式参加前のお手続きとなります。

問合せ先：十王中学区・日立北部 地域クラブ運営委員会事務局

特定非営利活動(NPO)法人UPOPO十王スポーツ文化クラブ

事務所(十王スポーツ広場クラブハウス)

TEL: 0294-39-3977 (不在時転送有) FAX: 0294-39-3987

MAIL: office@npo-upopo.jp (担当: 藤川 ☎ 080-5523-1616)

十王中学区・日立北部 地域クラブ加入申込書

会員情報						
ふりがな	性別	学年	学校名	生年月日	加入申込サークル	
氏名				平成 年 月 日		
住所	〒			緊急連絡先電話番号		
日立市				この番号は(保護者・家族・勤務先)のものですよ		

上記の旨の加入申し込みを承諾します。

保護者署名

印不取

休日のクラブ活動 参加申込書

NPO法人 滑川ファミリースポーツクラブ

令和8年度より第1・3の休日の部活動はなくなり、今までは滑川中学校だけのクラブ活動でしたが、自高中学校と合同でNPO法人滑川ファミリースポーツクラブと連携して行うことになりました。クラブ活動開始は、6月1日(金)からとなります。
参加希望する方は、下記の参加申込書をご提出ください。

日時	基本第1・3土・日曜日 のどちらか3時間程度	活動内容	男・女バレー、 男女バレー、平日の部活動→バスケットボール 休日のクラブ活動→卓球 日高、平日の部活動→バレーボール 休日のクラブ活動→陸上 など、平日の部活動とは 違う種目を選択することも 可能です。
場所	滑川中学校	参加申込書	担任の先生にご提出ください 締切期日：5月10日(金)まで
会費	年会費：3,000円 月会費：1,000円/2回		

※会費の集金方法 ①
②

第1回目 日時：6月1日(土) 8時集合(9時終了予定)
場所：滑川中学校体育館
年会費、月会費(6月分)あわせて4,000円をお支払
ください。
*クラブ活動についての説明をしますので保護者の方
も出席してください

*8時15分から30分程度
NPO法人滑川ファミリースポーツクラブ指導者に
よるかたはアンケートを実施予定
*締切期に無連絡の方は、お問い合わせください

クラブ活動一覧(予定)		問い合わせ
1. 男子バレーボール	2. 卓球	滑川中学校
3. 女子バレーボール	3. 軟式野球	電話 24-7034
4. 男子ソフトテニス	4. 陸上	NPO法人滑川ファミリースポーツクラブ
5. 女子ソフトテニス	5. バレー	電話 51-4496
6. 男子バスケボール	6. 軟式野球	
7. 女子バスケボール	7. 軟式野球	

5月10日(金) 締切期日

申し込み		平日の部活動	
氏名	性別 学年	生年月日	
住所	〒	緊急連絡先	
休日の参加希望クラブ活動 (1人1項目の希望を記入)		クラブ	

【生徒への参加啓発チラシ】

毎月
第1・3日曜日
9:00~12:00
久慈サンピア日立
or
泉丘中学校

2024年6月開始
中学校部活動
支援事業

部活動がお休みの
第1・第3日曜日は、
ひたちみなみSCの
教室で技術を磨こう!

先着50名
集まれ!!
ソフトテニス部員

参加料 年会費1,000円+月会費1,000円

申し込み
問合せ

NPO法人ひたちみなみスポーツクラブ
日立市久慈町7-1-1 南部支所内
☎ 090-4439-1195
hitachi.373.sc@gmail.com

申し込みQR

出典:UPOPO十王スポーツ文化クラブ

出典:滑川ファミリースポーツクラブ

出典:ひたちみなみスポーツクラブ

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【滑川ファミリースポーツクラブ・柔道】



【UPOPO十王スポーツ文化クラブ・バドミントン】



【滑川ファミリースポーツクラブ・男子バレー】



【ひたちみなみスポーツクラブ・ソフトテニス】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

検討委員会設置、検討開始

検討委員会での協議

令和5年

検討委員会における協議、関係団体との協議

検討委員会での協議、実証事業の実施等

令和6年

関係団体との協議

令和7年

中学生の受入れに協力できる地域クラブの拡大

●ステークホルダー

- ・総合型地域スポーツクラブ関係者
- ・スポーツ少年団関係者
- ・学校関係者等

●経過

関係者からなる検討委員会を実施（3回）

●実施にあたって生じた課題

指導者不足、実施場所、教員の関わり方、財源、行政の関わり方など

●実施内容、工夫した点等

検討委員会では様々な意見が挙がった。本市の総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団の数が県内最多であるという財産を活かす方向で調整を進めた。

●ステークホルダー

- ・総合型地域スポーツクラブ関係者
- ・スポーツ少年団関係者
- ・学校関係者等

●経過

検討委員会実施（3回）、実証事業実施（1団体）

●実施にあたって生じた課題

市としての方向性を定めること

●実施内容、工夫した点等

スポーツ少年団との懇話会、全市立中学校への概要説明、関係団体等へのアンケート調査等により実態を把握するとともに地域移行に係る理解の推進を図った。

●ステークホルダー

- ・総合型地域スポーツクラブ関係者
- ・スポーツ少年団関係者
- ・学校関係者等

●経過

検討委員会実施（3回）、実証事業実施（3団体）

●実施にあたって生じた課題

市としての方向性について理解を得ること。

●実施内容、工夫した点等

市としての方向性を定め、検討委員会、学校長会、スポーツ少年団、市P連等に説明会等で周知・理解を図った。

…枠・図等は適宜追加

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

令和8年度から休日の活動の幅が広がります！



日立市の休日の部活動地域連携・地域移行スケジュール

令和7年度

・休日に中学生の受入れに協力できる地域クラブ等が掲載されている冊子の情報を、QRコードにより閲覧できる案内チラシを用いて、各中学校で開かれる入学者・保護者説明会等でご説明します。(案内チラシは令和8年1月頃配布します。)

令和8年度

学校部活動は平日の活動になります。